

祖師谷

学校の学び舎
No. 9
平成27年11月30日発行
世田谷区立祖師谷小学校
校長 大串 亮

開校記念日を迎える祖師谷小学校

副校長 藤咲 孝臣

師走を間近に控え、冷え込みも一層激しくなってきました。校庭の銀杏の木も黄金色に変わり、葉を落とし始めています。冬の足音が近づいてきました。早いもので、2学期も残りあと1ヶ月となりました。

さて、12月1日は祖師谷小学校の73回目の誕生日、開校記念日です。今年も、毎年恒例の開校記念コンサートや開校記念集会、もちつき大会などの行事を予定しています。行事を通して、全校児童は勿論、保護者や地域の皆さんも交えて祖師谷小学校の73周年をお祝いできればと思っています。

祖師谷小学校は昭和15年に東京市塚戸尋常高等小学校祖師谷分教場として現在の地に開校し、昭和17年に東京市祖師谷国民学校として独立しました。開校当時の全校児童は245名、独立時の児童数は458名でした。開校後間もなく戦争が激しくなり、空襲、そして長野県方面への学童疎開なども行われました。終戦を迎え平和な時代となり、さらに時を重ね、今年で73回目の誕生日を迎えます。昭和40年前後には児童数は1500名を超えていました。現在の全校児童数は691名ですが、児童数は少しずつ増加しています。緑豊かな広い校庭、商店街や自治会など活気あふれる地域、これら祖師谷小学校の恵まれた環境を生かして、保護者や地域の皆様とともに子どもたちを大切に育んでいきます。5000名を超えるたぐさんの卒業生、そして在校生の大切な母校として、未永く愛され大切にされることを願っています。

風邪やインフルエンザなどが流行る季節になりました。学校でもうがいや手洗いをなどを励行していきます。2学期末まで元気に過ごせるよう、ご家庭でもお子様の健康管理をどうぞよろしく願います。

「人格の完成をめざしての12月のテーマ」

〇テーマ : 愛校心 (学校独自のテーマ)

・自分の学校に誇りを持ち、大切に思う心を育てるとともに、学校の一員として、協力する児童の育成を図っていきます。

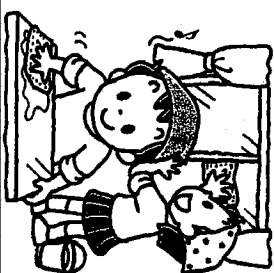
12月の行事予定

日 曜	学 校 行 事
1 火	開校記念日 開校記念コンサート 朝会 保護者会 (既済)
2 水	社会科見学 (5年)
3 木	保護者会 (24,6年)
4 金	社会科見学 (4年) 保護者会 (1,3,5年)
5 土	B時程 4時間 開校記念もちつき 開校記念集会
7 月	朝会 安全指導 委員会
8 火	B時程 5時間
9 水	B時程 4時間 重点研究
10 木	社会科見学 (4年)
11 金	B時程 5時間

14 月	朝会 クラフ⑧
15 火	地域清掃 (高学年)
16 水	B時程 5時間
17 木	集会 避難訓練
18 金	
21 月	朝会 クラフ⑨
22 火	兄弟学級集会
23 水	天皇誕生日 世田谷区合唱交歓会 (合唱団出演)
24 木	集会 給食終了
25 金	終業式 大掃除 B時程 3時間授業

【12月の目標】

生活指導 学校をきれいにしましょう
保健指導 冬の健康な生活を考えよう
給食指導 食品の働きを知り、バランスよく食べよう



「冬期の感染症の流行と予防について」

少しずつ冬の気配が感じられるようになりました。それとともに「少しかぜ気味かな?」といった様子の子どもたちをみかけるようになってきました。毎年このころが、かぜ・インフルエンザ・ノロウイルスによる感染性胃腸炎など、感染症の流行が心配される時期にさしかかっています。手洗い・うがい、部屋の換気などの予防法を学校と家庭で励行していこう、「十分な睡眠 (休養)」「栄養バランスのとれた食事」「適度な運動」で、体の抵抗力・免疫力を高めることも非常に大切です。(病気になるにくなるると同時に、重症化も防げます。)

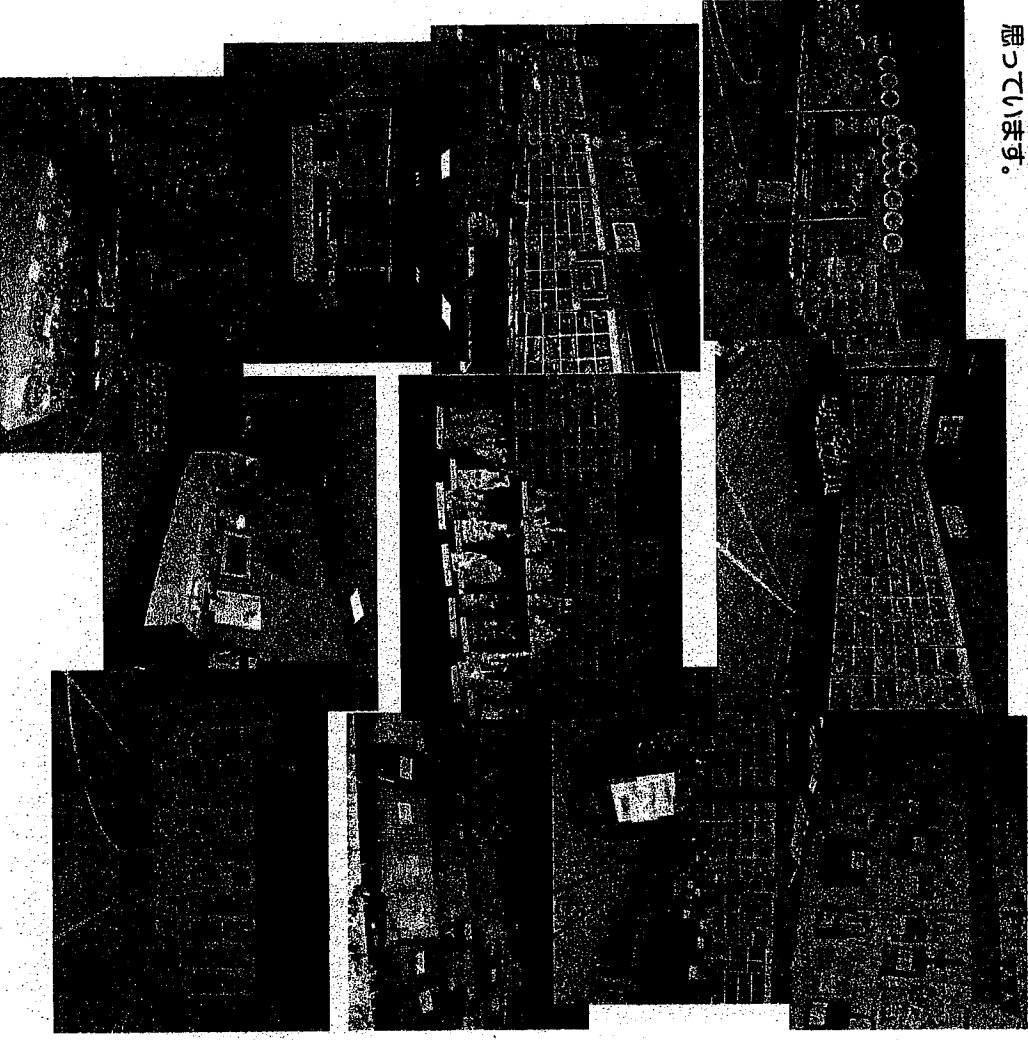
学校と家庭が一丸となり、予防はもちろん感染拡大防止に万全を期して対策に取り組んでいきたいと考えております。引き続き、ご協力を宜しくお願い致します。

養護教諭 高橋 典子

展覧会『かがやけ！～夢と努力の到達展～』

展覧会委員長 村上 優

11月12日(木)～14日(土)にかけて、展覧会が行われました。たくさんの方々に会場へ足を運んでいただき、ありがとうございます。今回は、『かがやけ！～夢と努力の到達展～』というテーマで、一人ひとりがイメージをふくらませながら作品づくりに取り組みました。いつもの体育館は、夢のつまった作品でいっぱいになり、あっという間に素敵な美術館に変身！作品を鑑賞する子どもたちの表情は、喜びでいっぱいでした。また、自分たちの作品を保護者の方や地域の方にご覧いただけただけでも、子どもたちの充実感につながったのではないかと思います。制作段階での材料の準備やご家庭での励まし、声かけ等、いろいろな面でのご協力ありがとうございました。今回の経験が、子どもたちのさらなる創作意欲へとつながってほしいと思います。



美しい日本語週間を振り返って

美しい日本語週間 担当 中村 淳子

世田谷区独自の教科である教科「日本語」が始まって、今年で九年。子どもたちにとって保護者の方々にとっても、なじみのある教科に育ってきたように思います。「美しい日本語を世田谷から」を合言葉に、子どもたちが美しい日本語を使えるようになることを目指し、各校で様々な取り組みがなされています。

本校では、各学期に「美しい日本語週間」を設定しています。1学期は、全校の子どもたちが俳句を作り、学校公開期間に合わせて廊下に掲示しました。教科「日本語」で学習し、宿題で何回も音読していることもあり、どの子も「五・七・五のリズム」に合わせて自分の気持ちを上手に表現し、個性溢れる素敵な作品が出来上がりました。掲示された作品を読んでいる姿からも日本語の響きやリズムを味わっていることが伝わってきました。また、掲示終了後は、すべての作品を笛吹市の俳句会に投句しました。

2学期は、「わたしの一字」として、自分の好きな漢字を一つ選び、それをカードに書いて廊下に掲示しました。それぞれが工夫を凝らして書いた「わたしの一字」も、その字を選んだ理由もその子らしさが感じられるものでした。

このような取り組みを通して、子どもたちが母国語である日本語に親しみ、日頃から美しい日本語を使っていこうという思いを持ってもらえることを願っています。

短なわ週間を振り返って

短なわ週間 担当 佐藤 貴子

10月26日から11月6日まで、短なわ週間でした。子どもたちは、本校の「なわとびマスターカード」「なわとびがんばりカード」をもとにして練習に励みました。週間中は、体育委員が休み時間に校庭に出て、検定を行い、カードにシールを貼りました。

1、2年生は、上級生に跳んだ回数を教えてもらったの励ましや称賛の言葉をかけてもらったのうれしくて、何度も列に並んで、たくさん跳びました。新しい技にも挑戦しました。上級生は、友達と互いに見合い、アドバイスし合いながら練習を重ね、次第に難しい技も跳べるようになってきました。上達したことでしよう。

11月5日の短なわ集会では、各クラスの代表が、いろいろな跳び方を披露しました。とてもリズムカルに軽やかに跳んでいました。学年が上がるほど、二重跳び、はやぶさ跳びなど、いろいろな難しい跳び方を見せてくれました。拍手喝采、みんなのよいお手本です。

短なわ週間は終わりましたが、これから寒くなってくる季節に、短なわ跳びは、自分のペースで、いつでも手軽にできる基本的な運動です。体力向上にも効果的です。特に、難しい技は、そう簡単にできるようにはなりません。練習を重ねることによって跳べるようになります。継続的に短なわ跳びに取り組み、自信を付けてほしいと思います。